

ギャラリーコンサート 2026

ルネサンス音楽の調べ

美術や音楽は私たちの生活を豊かにします。多くの地元の皆様が地元の美術館に足を運び、薫り高い芸術文化に浸っていただければ幸いです。2回目のギャラリーコンサートは「ルネサンス音楽の調べ」と題して企画をしました。今から300年～400年前のヨーロッパの音楽、いわゆるルネサンス・バロック音楽の演奏には現代とは違うタイプの楽器が用いられていました。夏の夕べに響くリュートやヴィオラ・ダ・ガンバといった当時の楽器の音色をソプラノの歌声とともに、心ゆくまでご堪能ください。曲はJ. ダウランドの「ご婦人方小間物はいかが」同じく「戻っておいで、甘い愛」他です。



演奏 ソプラノ :HIROKO
ヴィオラ・ダ・ガンバ :JIN
リュート :MASAKAZU



リュートは、中世からバロック時代にかけてヨーロッパで広く愛用された西洋の代表的な楽器です。

日本の琵琶のルーツと同じく、ペルシャの楽器が起源とされており、丸みを帯びた洋梨のようなボディと直角に曲がったペグボックスが特徴です。

ヴィオラ・ダ・ガンバは、16世紀から18世紀のルネサンス・バロック期にヨーロッパで広く使われた楽器です。イタリア語で「脚のヴィオラ」を意味し、その名の通り楽器を脚（膝やふくらはぎ）に挟んで演奏します。



ヴィオラ・ダ・ガンバ

リュート



会場:大衡村ふるさと美術館

8月2日(日) 17:00-18:00

- 入館料 大人 200 円 高校・大学生 150 円
- 座席 40 席を準備します。お申し込みは必要ありません。超えた場合は立ち席となります。
- 開場 16 : 30 開演 17 : 00